

茜が丘複合施設整備基本計画(案)に対し、頂いたご意見の概要と西脇市の考え方

1 募集期間:平成24年8月6日～27日

2 提出件数:7件(4名)

3 主な意見とその対応

(1) 意見を反映したもの(1件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
p28	敷地ゾーニング計画	駐車場への進入経路について安全性を検討し、歩行者等の安全確保を図って欲しい。	1	<p>進入経路については、周辺道路の交通状況、道路構造などを考慮し、特に安全性や利便性の観点から検討した結果、計画案を作成しました。検討にあたっての項目は以下のとおりです。</p> <p>① 勾配や曲線区間など見通し不良区間での分岐とならないこと。                  ② 歩行者動線との交差を最小限とすること。                  ③ 茜が丘宅地内の通過距離を最小限とし、通過交通量を増加させないこと。                  ④ 市北部からのアクセスについて利便性が高いこと。                  ⑤ 周辺土地の利用状況などから、交差点改良や歩行帯の確保など、道路改良余地があること。</p> <p>これらを検討した結果(別紙1参照)、安全性と利便性の観点から原案が最適であると判断しました。                  そのため、進入経路については計画案のとおりとしますが、基本計画29ページにおいて、「歩行者等の安全を確保するため、交通動線付近の必要な箇所には歩道の設置等を行うほか、イベント時などの車両混雑を避けるため、計画地へのサブの動線を検討する。また、沿道環境に配慮し緑化等を行う。」との記述を追記しました。                  施設整備に伴う歩行者や車両の安全性確保については特に留意し、今後の基本設計を進めていきます。</p>

(2) 既に盛り込み済みのもの(2件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
p33	コミュニティーセンター	複合施設内に整備する学習スペースについて茜が丘周辺には学校が多く立地することから、十分に確保して欲しい。30席程度では不足するのではないか。	2	<p>図書館の閲覧スペースとは別に、市民等が静かに学習できるスペースとして、学習室(30名程度)を整備する予定です。                  また、ご意見のとおり、夏休み期間中などには、多くの利用が見込まれ、不足することも考えられます。学習室は、フレキシブルな座席レイアウトを検討するなど、利用人数の一時的な増加へ可能な限り対応できる整備計画や管理運営計画を進めていきます。</p> <p>また、学習室以外のスペースとして、談話等が可能な交流スペース空間などを施設内外に計画しています。これらの場所で、児童や学生が明るく自由な雰囲気の中で、話をしながら教えあったり、勉強をするといったことも考えられます。</p> <p>学習室のほか、複合施設の所要室やコーナー等については、利便性の確保と施設の効率的な運営を勘案しながら、整備を進めていきます。</p>

## (4) 今後の参考とするもの(1件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数
p33	コミュニティセンター	学習室の開室時間を長くして欲しい。利用対象者の年齢制限などは設けないで欲しい。	1

## (5) その他(3件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
p18	図書館について	電子書籍の普及や人口減少など社会環境が変わっていく中で、多額の整備費を投じて、新しい図書館を建設するよりも、現図書館のサービス改善を行い、図書館の利用者を増加させる取組や運営費用を抑制する取組を行うべきではないのか。	1	<p>図書館については、生涯学習活動を支え、市民の課題解決を支援する「知の拠点」として、本市の将来を担う人材やコミュニティの育成の土台となる施設です。その重要性については、社会環境が変化する中にもあっても変わることのないものと考えています。</p> <p>現図書館では、蔵書の充実、開館日数の増加、図書館ボランティアによる読み聞かせ会の実施など、図書館サービスの改善に努めています。</p> <p>しかし、老朽化やバリアフリー設備の不備、駐車場の不足が課題となっており、利用者からも、利用環境の改善についてご意見をいただいています。また、多くの市民が他市町の図書館を利用されています。</p> <p>こうした課題を解決するため、茜が丘複合施設の整備にあわせて、現図書館の改修または複合施設内への移転を軸に、効果や費用、施設の効果的・効率的な管理運営などといった視点で図書館のあり方について検討を行いました。</p> <p>検討の結果、現図書館の改修では、建物構造の制約から開架、閲覧スペースなどスペース不足が解消されないことや、駐車場不足については、バリアフリー改善も併せて行うためには、敷地が不足しており、周辺グラウンドの一部を削るなどの方法によらないと、利用環境の抜本的な改善は難しいことが想定されました。</p> <p>そのため、将来の西脇市の図書館のあり方として、現地での改修に比べて投資効果や利便性が高い、新図書館の整備を行うこととしました。</p>
—	—	複合施設の整備にかかる費用について公開してください。今後の運営も含め、市の財政の大きな負担とならないか。	2	<p>複合施設の整備費用については、現在、算定を進めているところです。そのため、今後の設計業務において、コストの削減に努めていき、準備が整い次第、別途お知らせいたします。</p> <p>整備の財源については、有利な起債措置である合併特例債や国庫補助などを活用することで、市の財政に過度な負担が生じないように検討を進めています。</p> <p>また、運営に係る経費については、管理運営計画の中で詳細を検討していきます。検討については、十分なサービスの提供を前提としつつ、配置人員や体制について計画的、効率的な運営を整え、負担の軽減を図っていきます。</p>

●周辺道路及び交通状況の概要

【野村31号線】

- ・道路はゆるやかにカーブし、交差点の見通しがやや不良である。
- ・未利用宅地などを活用し、交差点付近の改良など道路改良による安全性の向上や緑化などによる環境改善余地がある。
- ・計画地は市南部に位置していることから、市中心部や北部からの自動車でのアクセスが良好である。
- ・茜が丘宅地内を通行する距離が比較的短く、宅地内歩行者の安全性確保や住環境の保全を行いやすい。

(西脇大池)



【茜が丘1号線】

- ・地区のメインとなる幹線道路であり、居住者をはじめ、通過交通など交通量が多い。
- ・勾配がきつい箇所、カーブ区間が多く、沿道に住宅が連なっている。
- ・地区内からの通学や公園を利用する児童などの歩行者が多く見られる。宅地内を通行する距離が比較的長く、交通量の増加による安全性や環境面の低下に留意が必要である。
- ・道路はゆるやかにカーブし、勾配がついていることから、交差点の見通しが不良である。
- ・住宅が連なっており、交差点改良など道路改良余地がなく、安全性確保の観点からメインの動線とすることは適当でない。

【野村20号線】

- ・カーブや勾配が緩く見通しが比較的良好的である。
- ・野村20号線と計画地には約5mの高低差があり、直接、車でアクセスできない。
- ・敷地との直接接続を行うためには、道路改良が必要であるが、地形などの制約から、勾配がきつく、進入路としてはふさわしくない。
- ・調整池北側の茜が丘3号線の利用については、交差点付近の見通し改良や道路幅員の改良が必要であるが、周辺の状況から改良余地が少ない。